

物語 『クラスメイツ』

前期・後期

森絵都/著 偕成社



中学校生活をのぞいてみよう

中学1年生24人のクラスメイトそれぞれの目線で書かれた短い物語で1年間を追っていく、連作短編集です。

中学生になったら自分を変えたいと思っている千鶴、小学校の時に友人関係になやんでいた志保里、学級委員としての責任を果たしたい裕真、いつもクラスで笑いをとっている人気者の心平など、どこの学校にもいそうな生徒達が、勉強をしたり、部活動で活やくしたり、新しい友人との関係を築いたり、ケンカをしてなやんだり、恋をしたりと、生き生きと青春のかけがえのない時間を過ごしていきます。

読み進めていくうちに、クラスの間人間関係が明らかになっていたり、同じ話を別の生徒の目線でも読むことができたり、1年を通してクラスが変わっていく様子を見届けているような気持ちになったりするので、続きが気になって、どんどん読み進めることができますよ。ぜひ、前期と後期の2巻続けて読んでみてくださいね。

図書室からのお知らせ

4・5年生へ

今年度最後の貸出日は、修了式のある3月22日(金)です。来年度は始業式のある4月8日(月)から図書室が開いています。春休み前に借りた本は、4月12日(金)までに返しましょう。

6年生へ

今年度最後の貸出日は、3月14日(木)です。男山中学校に進学するみなさんは、八幡小学校の図書室にある本を借りることもできます。なつかしい本を読みたくなったら、中学の先生にたずねてくださいね。

6年間たくさん図書室を利用して来てくれてありがとうございました。

八幡市立八幡小学校 図書室

本のおたより

(4年生～6年生用)



令和6年3月8日最終号

最後にもう1冊読んでみて!

もうすぐ今年度が終わりますね。今年度1年間で、たくさんの分野の本を読み、新しい知識を得たり、心を豊かにしたりすることはできましたか?そして、自分の好きな本を見つけることができたでしょうか?

本のおたよりも今年度最終号です。今年度のうちに読んでみてほしいおすすめの本を紹介するので、最後にもう1冊借りてみませんか?

絵本『あたらしいぼく』

シャーロット・ゾロトウ/文 エリック・ブレグヴァド/絵 みらいなな/訳 童話屋



おおきくなるって、どういうこと?

ある日、ぼくは、「たしかにぼくはここにいるんだけど そのぼくはぼくじゃないみたいなんだ。」と、思います。部屋の風船がらのかべ紙も、ベッドの上のぬいぐるみも、友だちとのビー玉遊びも、全部子どもっぽく感じたからです。その代わりに、浜辺で拾った貝がらに興味を持ち、図書館の図かんで調べたくなりました。そこで、必要の無い物を整理して、新しいぼくのスタートを切りました。

小学校高学年になり、どんどん大人に近づいているみなさんも、この本に登場するぼくと同じ気持ちの人がいるかもしれませんね。だれもが経験することなので、不安にならず、自分と向き合ってみましょう。